

## 気候情報

### 2013年4月の日本の天候

- 東・西日本中心に気温の変動が大きく、一時顕著な低温
- 上旬に北日本から西日本で暴風雨
- 北・東日本と沖縄・奄美で多雨

#### 4月の天気概況

日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過したため、北日本から西日本にかけて天気は数日の周期で変化した。6～8日にかけては、日本海と本州の南岸沿いを発達しながら通過した低気圧の影響で、北日本から西日本にかけての広い範囲で大雨や暴風となった。北・東日本では、この大雨のほか、低気圧や前線の影響を周期的に受けたため、月降水量が多くなり、北日本日本海側では顕著な多雨となった。また、日本付近は10日程度の周期で強い寒気が南下したため、一時顕著な低温になり、東・西日本中心に気温の変動が大きかった。21日は北日本や東日本の内陸では雪となり、福島、長野では1961年の統計開始以来最も遅い積雪となった。沖縄・奄美では、前線や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多く、多雨・寡照となった。

**上旬：**低気圧が数日の周期で日本付近を通過した影響で、北日本から西日本にかけては、数日の周期で天気に変化したが、沖縄・奄美では前線や低気圧の影響により、曇りや雨の日が多かった。6～8日は低気圧が発達しながら日本海と本州の南岸沿いを進んだため、北日本から西日本にかけての広い範囲で大雨や暴風となった。この大雨の影響で東日本太平洋側では、旬降水量が平年比278%となり、4月上旬としては統計を開始した1961年以降で最も多い値を更新した。旬の前半は、暖かい空気に覆われ北・東日本中心に高温となったが、後半は強い寒気が南下し、西日本や沖縄・奄美では顕著な低温となった。

**中旬：**北日本では前線や低気圧が短い周期で通過したため、曇りや雨の日が多かった。東・西日本では曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて、太平洋側を中心に晴れる日が多かった。また、東・西日本では、旬の中頃は南から暖かい空気が入り高温となったが、旬のはじめと終わりは強い寒気が南下したため顕著な低温となった。沖縄・奄美は、気圧の谷や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かった。

**下旬：**日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過した。東・西日本は、天気は数日の周期でかわり、太平

洋側を中心に晴れる日が多かったが、北日本は寒気の影響を、沖縄・奄美は湿った気流の影響を受けることもあり、曇りや雨の日が多かった。旬のはじめは強い寒気が南下し、東・西日本中心に顕著な低温となった。低気圧が本州の南海上を北東進した21日は、東日本の内陸や北日本では雪となり、福島、長野では1961年の統計開始以来最も遅い積雪となった。

#### 4月の気候統計

**月平均気温：**北日本、西日本、沖縄・奄美で低く、東日本では平年並だった。

**月降水量：**北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側、東日本、沖縄・奄美で多かった。一方、西日本太平洋側では少なく、西日本日本海側では平年並だった。

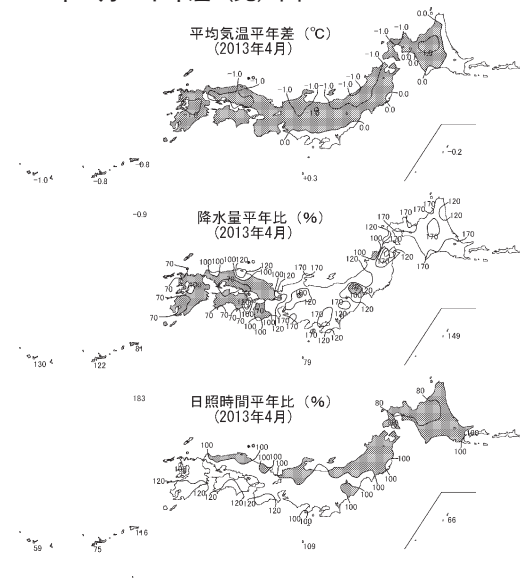
**月間日照時間：**東日本太平洋側と西日本で多かった。一方、北・東日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。北日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

#### 4月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から (mm)  
東京 283.0 横浜 281.0
- ・月間日照時間少ない方から (時間)  
岩見沢 118.8

#### 2013年4月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い (少ない) 地域を示す。